

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

お忙しいところ、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者の方とは質問内容は異なりますが、子どもたちにも実施しました。結果については、3学期の「学校だより」でお伝えさせていただきます。
今回の結果を、学校改善につなげていきます。

6年生「伊賀市部落問題を考える小学生の集い」(11/28)

～差別をなくしていくなかまとしてつながるために～

伊賀市内の小学校の6年生の代表が一堂に会して、「部落問題を考える小学生の集い」が開催されました。本校からも、6年生2名が出席をし、10人ほどのグループで、他校の子どもたちと、これまで各学校で行ってきた人権学習を通して、考えたり、思ったり、話し合ったり、実践したりしてきたことを伝え合ったり、差別やいじめなどをなくしていくために、自分たちは何をしていくのかなどについて話し合ったりする機会をもちました。子どもたちの話を聞いて、各校で子どもたちがしっかり人権についての学習を積み上げてきていることが感じられる場面が多くあり、うれしく思いました。その話し合いの中で、自分自身の経験を語った子どもが、「みんなでもがんばらないといけないけれど、自分は自分で頑張らないといけない時がくるから、みんなに助けてもらいながら、自分も頑張っていきたい。」と発言をしました。それに対して、まわり子どもたちからは、「自分だけで頑張るのは限界があるし、それに、一人で頑張ることじゃない。」「そんなことを言っている人がおかしい。その人が変わらないといけない。」といった発言が出され、各校でのこれまでの学習の積み上げを感じました。発言をした子どもも、「受け止めてもらえるか不安だったけれど、みんなに受け止めてもらえてうれしかった。」と返していました。

集いの後、6年生では、集いに参加した子どもたちが、集いで出された意見や参加して考えたことなどを発信することで、これまでの自分やなかまのことを振り返ったり、差別やいじめを許さないなかまになっていくために、自分たちは何をしていくのかを話し合ったりしています。

6年生には、一連の学習の中で、自分自身や自分たちのことを振り返って考えたことや思ったこと、あるいはみんなで実践していることなどを、是非とも、卒業までに、他の学年の子どもたちに発信してほしいと思っています。よろしくお願ひします。

なお、今回は、伊賀市の「小学生の集い」でしたが、中学生も「部落問題を考える中学生の集い」を行っています。さらに、いがまちでは、柘植中学校と霊峰中学校の「二校交流会」や、「いがまち部落問題を考える保護者の集い」も行っており、世代に応じた反差別のなかまづくりの取組を進めています。2月の学級懇談では、12月9日に開催された「保護者の集い」の報告をもとに、考える機会をもつ予定です。

3年生 交通安全教室(11/30)

校区内の企業の方からお声がけをいただき始まった「交通安全教室」ですが、ここ数年は、新型コロナウイルスの感染の広がりのため開催できていませんでしたが、今年は、久しぶりに開催をすることができました。

当日は、13トンと25トンのトラックを運動場に乗り入れていただき、トラックの運転席に実際に乗せてもらい、運転席からは見えない「死角」があることや、トラックが曲がる時には、前のタイヤと後ろのタイヤでは通る道筋が違う「内輪差」があることを、実際に体験して学習しました。

また、トラックの大きさや重さが実感できるように、乗用車との大きさ比べをしたり、荷台に乗せてもらったりして、その大きさを体感しました。ただ、トラックの大きさが一番実感できるであろうと考えていた「トラックとの綱引き」は、子どもたちが、あっという間にトラックを引っ張ってしまい、社員のみなさんも驚いていました。

その後、教室に入り、子どもたちの質問に、一つ一つ丁寧に答えていただきました。今回ご協力いただいた企業の方には、毎年、多くのチューリップの球根も届けていただけており、地域の皆様に支えていただいていることを大変ありがたく思っています。今回の取組のように、今後も、地域の方にご協力をいただきながら、地域の方と連携した学習を進めていきたいと考えています。ご協力よろしくお願ひします。



伊賀市PTA連合会スポレク親睦大会で、見事、優勝!!(11/19)

今年の「伊賀市PTA連合会スポレク親睦大会」において、「チーム壬生野」が、見事、「優勝!!」しました。今年は、初めて「ポッチャ」という競技でしたが、頭脳とチームワークと度胸で、優勝を勝ち取りました。選手のみなさん、応援のみなさん、ご苦労様でした。ありがとうございました。

